

第3学年 国語科学習指導案

令和元年9月20日（金）2校時
3年教室 荒木 基良

1. 単元名 書き手のくふうを考えよう「ほけんだより」を読みくらべよう

2. 単元の目標

二つの「ほけんだより」を読み比べ、それぞれの事柄の取り上げ方や、説明の仕方の工夫を読み取ることができる。

3. 学級の実態

本学級の児童は、QUテストの結果からも自由な雰囲気活発に行動できている児童が多い。ペアやグループ学習では、自分の思いを伝えることはできるが、相手の思いを聞くことは乏しい。NRTの学力偏差値では、個人差が大きく、「伝わるように話すこと」、「大事なことを聞き取ること」の正答率が低い。そのため、まず、聞くことを意識させて授業を行ってきた。

叙述を基に読み取ることには力を入れているが、読み取りの力には大きく差がある。

4. 学習指導計画 (総時数 8時間)

時	主な学習計画 (本時 4/8)
1	学習の見通しを立てる。
2	1つ目の文章に書かれている事柄を読み取る。
3	2つ目の文章に書かれている事柄を読み取る。
4(本時)	2つの文章を読み比べ、書かれている事柄、読み手の気持ちの違いを読み取る。
5	2つの文章を読み比べ、書き手の意図に応じた表現の工夫を読み取る。
6・7	自分なら2つの文章のどちらを「ほけんだより」にしたいかを考える。
8	2つの文章を読み比べ、取り上げている事柄の違いや、説明の仕方の工夫を読み取ることができたかどうか振り返る。

5. 研究主題を受けて

(1) つけたい力

事柄の取り上げ方や説明の仕方の工夫を読み取る力

(2) 主体的・対話的・深い学びの実現に向けて

○ 主体的な学びのために

言葉の違いを捉えることができるようにするために、ほけんだよりの事柄の取り上げ方や説明の仕方だけに観点を限定し、考えさせるようにする。

○ 対話的な学びのために

ペアで交流する時間を設ける。そこで、友達と教え合い、自分の考えをまとめることができるようにする。

○ 深い学びのために

全体でなぜそう考えたのかを話し合い、教科書のどこからそう思ったのか確認したり、その理由を考えさせたりする。

6. 本時の目標と評価

【目標】○二つの文章の相違点を読み取り、工夫や読み手の気持ちを理解することができる。

〔読むこと〕

【評価】○二つの文章の相違点を読み取り、工夫や読み手の気持ちを理解している。〔ワークシート・話し合い〕

7. 本時の研究の視点と手立て

視点1 主体的に学ぶための『学びのプラン』

① 学習指導計画と本時の展開の工夫

学習指導計画の1時間で行うところを実態に合わせて、2時目、3時目の2時間の中で分けて行うようにした。本時の展開では、導入に時間をかけ、丁寧に前時の確認を行う。

視点2 対話的に学ぶための『学びのスタイル』

② 互いが高まる伝え合う活動の工夫

一人では、考えが深まらない児童がいることが予想されるため、一人で考えたあとにペアで考える時間を設定し、お互いの考えを交流する時間を多めに設定した。

視点3 深い学びのための『学びのコーディネート』

③ 深い学びにつながるコーディネートの工夫

前時までに完成させた穴埋め式のワークシートを活用し、分かりやすかつたえる工夫や読んだ人が思うことを全体で話し合いを行い、深い学びにつながるようにした。

8. 本時の展開 (4/8) (・指導→点線 ・学び→二重線 ・留意点→※ ・評価→★)

④ 全体での話し合いで、分かりやすく伝える工夫や読んだ人が思うことの違いを話し合う。(10分)

T 「分かりやすく伝える工夫・読んだ人が思うことは、どんなことがありましたか。」

「なぜそう思いましたか。」

※意図的指名をして、教科書の文のどこを見て、そう思ったのかを発表させる。

① 前時の学習を振り返り、本時のめあてを確認する。(10分)

T 「前の時間に、二つの文章にそれぞれ書いてあることをワークシートにまとめましたね。どんなことが書いてあったか確認しましょう。」

T 「今日は、2つの文章のちがうところを見つけましょう。」

※ 書いてあることの違いを理解できるように、丁寧に確認する。

ま
ろは、
二つのほけんだよりのちがうところは、

2つ目の文章

1つ目の文章

め
ちがうところを見つけよう。
二つのほけんだよりのちがうところを

二つ目の文章		一つ目の文章
朝ごはんを食べないと、()がなくなったり、()を感じたりする。	書いてあること	朝ごはんは、みなさんが()のために()です。
ほけん室に来た人は、朝ごはんを食べた人より、()が多い。		朝ごはんは、()になる。朝ごはんを食べると、()が上がり()ができる。
	分かりやすくつたえるくふう	
	読んだ人が思うこと	
	大森先生が伝えたいこと	

② 各自ワークシートにまとめる(5分)

T 「前の時間に確認したことを使って、2つの文章のちがいをワークシートにまとめましょう。」

分かりやすく伝える工夫
読んだ人が思うこと

③ ペアでワークシートにまとめ、交流する。(5分)

T 「隣の人と話し合って、ワークシートを完成しましょう。」

※書けていないペアには、絵や表の違いに気づくことができるように指導する。

⑤ 学習を振り返り、本時のまとめを書く。(10分)

T 「本時の学習を振り返って、まとめを書きましょう。」

※ 「2つのほけんだよりのちがうところは・・・」のはじまりで書く。

⑥ 次時の学習について知る。(5分)

T 「次の時間は2つの文章、どちらをほけんだよりにしたいか自分の考えをまとめます。」

二つ目の文章		一つ目の文章
朝ごはんを食べないと、()がなくなったり、()を感じたりする。	書いてあること	朝ごはんは、みなさんが()のために()です。
ほけん室に来た人は、朝ごはんを食べた人より、()が多い。		朝ごはんは、()になる。朝ごはんを食べると、()が上がり()ができる。
	分かりやすくつたえるくふう	
	読んだ人が思うこと	
	大森先生が伝えたいこと	